

# 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目		学年・類型	1年	必修・選択	単位数(週時数)	5
教科書	現代の国語1 (三省堂) 新編 新しい書写 (東京書籍)							
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代の国語」準拠 中学必修テキスト国語1年 (三省堂版)</li> <li>・常用漢字ダブルクリア [四訂版] (尚文出版)</li> <li>・国語便覧 (浜島書店)</li> </ul>							

学習の目標	国語を正確に理解し、適切に表現する能力を育成するため、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」のそれぞれの領域の能力をバランス良く伸ばし、思考力や表現力を高め、想像力を養い、豊かな言語感覚を身に付けます。	
学習の方法	国語は言葉の学習です。よりよい言葉の使い手になるためには、相手や目的、意図、様々な場面や状況などにふさわしい表現をしたり、理解をしたりすることが必要です。そのために、予習として音読や語句調べ、復習としてノートの見直しなどをきちんとこなして授業に臨み、話すことと聞くこと、書くこと、読むこと、伝統的な言語文化と言葉そのものについて知ることの学習活動に主体的に取り組みましょう。また、言語感覚を豊かにし、知識を深めるために、本や新聞に親しみ、辞書を積極的に活用することを心掛けましょう。	
評価の基準	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、目的や場面に応じて様々な文章を的確に読み取り、感性をより豊かなものとしている。また、他者との関わりの中で、筋道を立てて考え表現する力や伝え合う力を高め、自分の考えを豊かにしたり深めたりしている。
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにししたりしながら、言葉が持つ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使うとしている。
評価の方法	課題、提出物、考査の成績、漢字テスト、聞き取りテスト、学習活動への取組などを、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。	

	単元	主な学習内容
1 学期	1 豊かに想像する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「朝のリラ」を表現に着目しながら読み、詩に表れているものの見方や考え方を読み取ります。</li> <li>・「竜」を読み、場面の展開や登場人物の描写から、登場人物の気持ちの変化を読み取ります。</li> <li>・「クジラの飲み水」を読み、段落と段落の関係や筆者の表現の工夫に着目しながら文章の展開を捉え、内容を読み取ります。</li> <li>・「空中ブランコ乗りのキキ」を読み、場面ごとの主人公の心情とその変化を読み取ります。</li> <li>・「字のない葉書」を読み、内容を引用して紹介し合います。</li> <li>・ことばの単位・文節の関係について理解を深めます。</li> <li>・音声のしくみとはたらきについての理解を深めます。</li> <li>・辞書の使い方や、活字と手書き文字、画数、筆順について理解を深めます。</li> </ul>
	2 わかりやすく伝える	
	3 ものの見方・感性を養う ・言語事項	
2 学期	4 論理的に考える	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「玄関扉」を読み、文章に示された事実と筆者の意見と理由を読み分けて筆者の意図を明らかにし、要旨を捉える力を学びます。</li> <li>・「月を思う心」「竹取物語」では、仮名遣いに注意して音読し、古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界観に触れます。</li> <li>・「矛盾」では、漢文独特の表現に注意して音読し、故事成語について学びます。</li> <li>・「防災に関するデータ」「『みんなであるから大丈夫』の怖さ」から、資料の読み方を学ぶ。</li> <li>・「トロッコ」を読み、情景や行動の描写から、主人公の心情の変化を読み取ります。</li> <li>・漢字の部首と成り立ちについて理解を深めます。</li> <li>・接続する語句・指示する語句についての理解を深めます。</li> <li>・効果的な表現技法(比喩・倒置・反復・対句)について理解を深めます。</li> <li>・単語の類別・品詞について理解を深めます。</li> </ul>
	5 古典に学ぶ	
	6 情報を関係づける 7 読みを深め合う ・言語事項	
3 学期	8 視野を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「意味と意図ーコミュニケーションを考える」を読んで、必要な情報に着目して文章を要約し、内容を捉える。</li> <li>・「少年の日の思い出」を読み、登場人物の言動から、心情の変化を捉えたり、作品の構成の工夫を読み取り、その効果について自分の考えを深めたりします。</li> <li>・漢字の音と訓についての理解を深めます。</li> </ul>
	9 振り返って見つめる	
	・言語事項	

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目		学年・類型	2年	必修・選択	単位数(週時数)	4
教科書	現代の国語2 (三省堂) 新編 新しい書写 (東京書籍)							
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代の国語」準拠 中学必修テキスト国語2年(文理)</li> <li>・常用漢字ダブルクリア [四訂版] (尚文出版)</li> <li>・国語便覧 (浜島書店)</li> </ul>							
学習の目標	国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成するため、「話す・聞く」「書く」「読む」の領域と「言葉の特徴や使い方」の能力をバランス良く伸ばし、思考力・表現力を養い、言語感覚を豊かにします。また、国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てます。							
学習の方法	国語は言葉の学習です。よりよい言葉の使い手になるためには、言葉を手がかりとして論理的に考えたり、想像したりする力が必要です。予習として音読や語句調べ、復習としてノートの見直しなどを確実にこなし、授業に臨みましょう。そして、話すことと聞くこと、書くこと、読むこと、言葉の特徴や使い方に関する事項の学習活動に主体的に取り組みましょう。また、言語感覚を豊かにし、知識を深めるために、本や新聞に親しみ、辞書を積極的に活用することを心掛けましょう。							
評価の規準	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。						
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」各領域において、論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。						
	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて、積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、読書を生活に役立て、言葉を適切に使おうとしている。						
評価の方法	課題、提出物、考査の成績、漢字テスト、学習活動への取組などを、「知識・技能」「思考力・判断力・表現力」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点から総合的に評価します。							

	単元	主な学習内容
1 学 期	1 豊かに想像する	・「名づけられた葉」を読み、詩の構成、比喩表現の理解を通して、思いを捉えます。「セミロングホーム」を読み、人物の設定の仕方を捉え、会話や行動から心情変化を読み取ります。
	2 わかりやすく伝える	・「人間は他の星に住むことができるのか」を読み、構成に着目して理解を深めるとともに、わかりやすく伝えるための工夫について考えます。
	3 ものの見方・感性を養う ・言語事項	・現代短歌を読み、リズムや表現方法などの特徴を理解し鑑賞します。 ・漢字の読み書きについての理解を深めます。
2 学 期	4 論理的に考える	・「一〇〇年後の水を守る」を読み、図表の効果を考えながら、筆者の考えを捉え、その事柄について自分の意見を深めます。
	5 古典に学ぶ	・「枕草子」「徒然草」「平家物語」を読み、暗唱しリズムを味わうとともに、風物や情景の捉え方や描き方の特徴を読み取ります。
	6 情報を関係づける	・「共生社会に関するデータ」「自立とは『依存先を増やすこと』」を読み、複数の情報を関連付けて、自分の考えをまとめます。
3 学 期	8 読みを深め合う	・「小さな手袋」を読み、登場人物の言動からその心情を読み取ります。
	7 視野を広げる	・「動物園でできること」を読み、例示の効果に注意しながら、主張を読み取ります。
	5 古典に学ぶ	・「漢詩」を読み、絶句・律詩の構成や対句表現について理解を深め、漢詩の世界に対する興味関心を高めます。
	9 振り返って見つめる	・「走れメロス」を読み、優れた描写を通して心情を読み取るとともに、小説の表現の工夫や特徴を理解します。

令和5年度 シラバス

教科	国語	科目		学年・類型	3年 <b>必修</b> ・選択	単位数(週時数)	4
教科書	現代の国語 (三省堂) 新編 新しい書写 (東京書籍)						
副教材等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「現代の国語」準拠 中学必修テキスト国語3年(文理)</li> <li>・現代文アチーブ1四訂版(桐原書店)</li> <li>・徒然草による用言ノート(尚文出版)</li> <li>・国語便覧(浜島書店)</li> <li>・常用漢字ダブルクリア〔四訂版〕(尚文出版)</li> </ul>						

学習の目標	国語を正確に理解し、適切に表現する能力を育成するため、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域の能力をバランス良く伸ばし、思考力や表現力を高め、想像力を養い豊かな言語感覚を身に付けます。	
学習の方法	国語力は、「話す・聞く・書く・読む」といった日常の言語活動を豊かにすることにより、高めることができます。日頃から、要点を聞き取り、情報を整理して話す力を身に付けましょう。また、語彙力を高めるために、辞書を積極的に活用し、分からない言葉は、文脈から推測した後すぐに調べる習慣を身に付けましょう。授業中は、意欲的に自分の意見や感想をノートに書き込み、思考力を養いましょう。豊かな心と骨太の知性を育むために、本や新聞を読む習慣を身に付けることも重要です。年間30冊以上の本を読むことを目標としてください。古典に関しては、独特のリズムを体になじませるために、作品の「暗唱」に挑戦しましょう。古典の世界に触れ、味わいましょう。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉が持つ価値を認識しようとしているとともに、読書を通じて自己を向上させ、言葉を適切に使用している。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。
	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。
評価の方法	課題、提出物、考査の成績、小テスト(漢字・文法など)、学習活動への取組の姿勢や態度などを、「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」の3つの観点から総合的に評価します。	

	単元	主な学習内容
1 学 期	1 豊かに想像する 2 わかりやすく伝える 3 ものの見方・感性を養う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・言葉の効果的な使い方など表現の工夫に注意しながら、詩「岩が」を読みます。</li> <li>・「間の文化」を読んで、論理の展開の仕方について注意して、筆者の主張を読み取ります。</li> <li>・「握手」を読んで、場面設定の仕方や登場人物の描かれ方を読み取り、その人物像を的確に捉えます。</li> <li>・俳句のきまりや特徴を理解して、作品の内容を捉えます。</li> <li>・場や相手に応じて、話の内容を構成し、話し方を工夫して、「ブックトーク」を行います。</li> <li>・漢字の読み書きについての理解を深めます。</li> </ul>
2 学 期	4 論理的に考える 5 古典に学ぶ 6 情報を関連付ける	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「フロン規制の物語(杞憂)と(転ばぬ先の杖)のはざままで」を読んで、文章の展開の仕方や、小見出しの付け方について、その意図や効果を捉えます。</li> <li>・社会生活の中から話題を決め、経験や知識を整理しながら、表現を工夫し、説得力ある発言を「パブリックスピーキング」においてします。</li> <li>・和歌に詠まれた背景を想像しながら、情景や心情を読み取ります。</li> <li>・歴史的背景などに注意して「おくのほそ道」を読み、作者のものの見方や考え方を捉えます。</li> <li>・漢文の響きやリズムに注意しながら「論語」を読み、孔子のものの見方や考え方を捉えます。</li> <li>・「情報社会を生きる—メディア・リテラシー」を読んで、文章の構成や表現の仕方について読み取り、評価します。</li> <li>・慣用句・ことわざ・四字熟語などについての理解を深めます。</li> <li>・取材や分析をとおして課題に対する自分の立場や考えを定め、論理展開が明解な文章構成を工夫して書きます。</li> </ul>
3 学 期	7 読みを深め合う 8 視野を広げる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・詩の形式をふまえて「初恋」を朗読し、描かれている思いを捉えます。</li> <li>・「故郷」を読み、場面や登場人物の設定の仕方を捉え、内容の理解に役立ちます。</li> <li>・『文殊の知恵』の時代を読み、筆者の主張を捉え、身近な例や報道の例に目を向けながら内容を理解します。</li> <li>・語句の使われ方に注意して「坊っちゃん」を読み、表現の仕方について評価します。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	現代の国語	学年・類型	4年 必修 選択	単位数(週時数)	2
教科書	高等学校 現代の国語 (第一学習社)						
副教材等	「新訂国語図説 六訂版」(京都書房)、「常用漢字ダブルクリア 四訂版」(尚文出版)、「イラストとネットワーキングで覚える現代文単語げんたん」(いっずな書店)、「論理的に考える LT現代文 LT2」(浜島書店)、「高校生のための愛媛の文学」(森と出版)						

学習の目標	様々な文章を読み、言葉による見方・考え方を働かせるとともに、言語活動を通して実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けることを目指します。また、論理的に考える力、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、国語で的確に理解し効果的に表現する力を育成することで、言葉を通して他者や社会に積極的に関わろうとする態度を養います。	
学習の方法	言葉は思考の根本であり、言葉によって私たちはより深く物事を洞察し、理解することができます。重要なことは、思索活動としての言葉を豊かにすること、論理的に言葉を組み立てること、表現方法を学ぶことです。「予習・復習」「授業の受け方」については、授業で配布したプリントを参考にしてください。また、「読書」によって、優れた先人の思想や悩み感じた跡をたどり、教養を深め、多角的な視点を獲得しましょう。図書館に親しみ、毎月3冊を目標に読んでください。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力を向上させようとしている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高めて、自分の考えを深め発展させている。
	知識・技能	言語文化についての理解を深めるとともに、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単 元	主な学習内容
1 学 期	理解編 『本当の自分』幻想「羅生門」 表現編 「論理的な表現」「話し方の工夫」 「書き方の基礎レッスン」 論理分析 【対比】【具体と抽象】	<ul style="list-style-type: none"> <li>主題に至る論の構造を把握し、主張に説得力を持たせるための論の展開について考えます。</li> <li>主人公の行動や心理をもとに場面の展開を正しく読み取るとともに、主人公の心の変化に対する自分の考えをまとめます。</li> <li>論理的に話したり書いたりする方法を理解します。</li> <li>文章を分析的に読み、論理の展開を理解します。</li> </ul>
2 学 期	理解編 「水の東西」「夢十夜」「現代の『世論操作』」 表現編 「情報の探索と選択」「待遇表現」 論理分析 【事実と意見】【推論】	<ul style="list-style-type: none"> <li>文章の論理構成を把握し、筆者の主張を読み取ります。</li> <li>文章から自分が解釈した内容を的確に伝えるための根拠の示し方や説明の方法を考えます。</li> <li>内容や構成、論理の展開を的確に捉え、筆者が提起する課題を理解します。</li> <li>情報の信頼性や妥当性の吟味のしかたを理解します。</li> <li>文章を分析的に読み、論理の展開を理解します。</li> </ul>
3 学 期	理解編 「城の崎にて」「日本の労働問題に関わる資料を読み比べる」 「不均等な時間」「法律改正に関わる文章を読み比べる」 表現編 「合意形成のための話し合いを行う」 「社会に対する意見文を書く」 論理分析 【主張と根拠】【主張と反論】	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品の構成を読み取り、作中に示された死生観について考えを深めます。</li> <li>文章の構造を手がかりに論理の展開を把握し、筆者の考えを正しく読み取ります。</li> <li>複数の文章や資料を関連づけながら内容を解釈します。</li> <li>話し合いの進め方のルールや意見文とはどういうものかを理解します。</li> <li>文章を分析的に読み、論理の展開を理解します。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	言語文化	学年・類型	4年 必修 選択	単位数(週時数)	3
教科書	高等学校 言語文化 (第一学習社)						
副教材等	「新訂国語図説 六訂版」(京都書房)、「体系古典文法 九訂版」(数研出版)、「理解を深める核心古文単語 351」(尚文出版)、「新演習古典アチーブ 1 三訂新版」(桐原書店)、「枕草子による助動詞ノート」(尚文出版)、「精選漢文」(尚文出版)、「精選漢文ノート」(尚文出版)、「高校生のための愛媛の文学」(森と出版)						

学習の目標	上代から近現代に受け継がれてきた我が国の言語文化に対する理解を深めるとともに、自らがその担い手であるとの自覚をもち、伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする態度を養います。その中で、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、ものの見方や考え方を豊かにすることをねらいとしています。	
学習の方法	先人が築き上げてきた伝統や文化を学ぶことで、私たちは豊かな感性と情緒を養うことができます。我が国の言語文化への理解を深めることを通して、思索活動としての言葉を豊かにし、論理的に言葉を組み立てる力や表現する方法を身に付けましょう。「予習・復習」「授業の受け方」については、授業で配布したプリントを参考にしてください。また、「読書」によって、優れた先人の思想や悩み感じた跡をたどり、教養を深め、多角的な視点を獲得しましょう。図書館に親しみ、毎月3冊を目標に読んでください。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力を向上させようとしている。
	思考・判断・表現	「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高めて、自分の考えを深め発展させている。
	知識・技能	言語文化についての理解を深めるとともに、社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単 元	主な学習内容
1学期	日本文学編 古文入門『宇治拾遺物語』 随筆『徒然草』 漢文学編 漢文入門 故事成語『戦国策』	<ul style="list-style-type: none"> <li>古典文法を習得し、古語の意味に注意しながら説話や物語を読み味わいます。</li> <li>随筆に描かれた人生観や自然観について考えます。</li> <li>訓読の基本を習得し、話の内容を正しく理解します。</li> <li>訓読に慣れるとともに、古典の言葉と現代の言葉とのつながりについて理解します。</li> </ul>
2学期	日本文学編 歌物語『伊勢物語』 日記『土佐日記』 随筆『枕草子』 古典の詩歌『万葉集』『古今和歌集』『新古今和歌集』 漢文学編 史伝『十八史略』 思想『論語』	<ul style="list-style-type: none"> <li>歌物語の特色を知り、登場人物の心情を読み取ります。</li> <li>我が国最初の日記文学を読み、執筆の意図を考えます。</li> <li>随筆に描かれたものの見方や考え方、美意識について理解します。</li> <li>和歌の表現技法を学び、和歌の世界を読み味わいます。</li> <li>漢文の句法や漢文独特の語や表現を習得します。</li> <li>史伝の舞台となる時代背景を知るとともに、作中に描かれた人物の考えや論理、人物像を読み取ります。</li> <li>儒家思想と現代との関わりについて考えます。</li> </ul>
3学期	日本文学編 軍記物語『平家物語』 近代の詩歌 伝統と文化 漢文学編 漢詩 文章	<ul style="list-style-type: none"> <li>口承文学を味わい、人間の生き方について考えます。</li> <li>我が国の伝統文化の一つである短歌・俳句及び現代詩の鑑賞のしかたを理解し、作品に表れた情景や作品に込められた思いを読み取ります。</li> <li>漢詩のきまりを理解しよまれた心情や情景を鑑賞します。</li> <li>漢文の名文に触れ、筆者の思想や主張を理解するとともに自分の考えを深めます。</li> </ul>

# 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	学年・類型	5年・人文	必修・選択	単位数(週時数)	3
教科書	文学国語(筑摩書房)							
副教材等	「新訂 国語図説 六訂版」(京都書房)・「常用漢字ダブルクリア 三訂版」(尚文出版) 「イラストとネットワーキングで覚える現代文単語げんたん」(いっぴいな書店)・「LT現代文 LT3」(浜島書店)							

学習の目標	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めるとともに、深く共感したり豊かに想像したりする力、創造的に考える力や伝え合う力を伸ばします。書き手や登場人物のものの見方、感じ方に触れ、それについて思考したり想像したり批評したりすることを通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることをねらいとしています。	
学習の方法	文章理解や自己表現には、語彙力が不可欠です。意識的、意欲的に取り組み、語感を磨き語彙を豊かにしてください。文学国語の授業では、思考力と判断力、そして表現力を高めます。これらは相互に関連しており、バランス良く鍛えなくてはなりません。授業に主体的に参加し、投げ掛けられた問いに対して真剣に考えたり、級友と意見交換したり意見を書き留めたりすることを通して、力を付けていきましょう。また、文学的な文章の解釈の多様性について考察することは、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めることにつながります。現代社会の問題や他教科で学習したこと、新聞や新書で得た知識なども関連させながら、自己を向上させましょう。積極的な読書も大切です。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力を向上させようとしている。
	思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、言語活動を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高めて、自分の考えを深め発展させている。
	知識・技能	言葉の特徴や使い方についての知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1 学 期	第一部 第1章 評論・随想(一) 第2章 小説(一)	・「バイリンガリズムの政治学」を読み、表現の背後に潜む複数の境界線を分析する筆者の視点に注目し、「新たな表現」について考えます。 ・「山月記」を読み、主人公李徴の心情の変化を理解し、さらに小説の虚構性を通して、人間とは何か、私たちはどう生きるべきかを考えます。
	第3章 随想・評論(二) 第4章 随想・評論(三) 第5章 小説(二)	・「実体の美と状況の美」を読み、文化は何を「美」と見なしてきたのか、美意識の中に潜む文化的な基準を歴史上の様々な事例から読み取ります。 ・「記号論と生のリアリティ」を読み、筆者の考え方を踏まえて文学を読み解く方法について考えます。 ・「こころ」を読み、長編小説の全体像と細部との関係を理解します。また、本文の読解を通して、人間観、人生観に自覚的になることで自己と向き合い、人間の心について考えを深めます。
	第6章 随想・評論(四) 第7章 随想・評論(五)	・「論語—私の古典」を読み、『論語』がどのようにして筆者を励ます古典となったのかを読み取ります。 ・「能 時間の様式」を読み、筆者の論旨を読み取って、時間とはどのようなものなのかを考えます。
	第8章 詩歌 第9章 随想・評論(六)	・「サーカス」「永訣の朝」などを読み、詩歌に込められた詩人の思いを感じ取ります。 ・「文学の仕事」を読み、筆者が説く「文学」の役割を柔軟な視点で捉え直すことを通して、人生における「文学」の意義とは何かについて考えます。
	第10章 小説(三)	・「捨てない女」を読み、比喩と想像力が生み出すことばの広がりを味わうとともに、主人公の姿から何が見えてくるのかについて考えます。
	第二部 第1章 随想・評論(一) 第2章 小説(一)	・「小説とは何か」「陰翳礼讃」を読み、筆者独自のものの見方・考え方を理解することを通して、我が国の文化的な特質への理解を深めます。 ・「舞姫」「鮑」を読み、「個」と「社会」の対立、異なる立場や価値観のせめぎ合いを読み解くことを通して、自己のものの見方や考え方について考えを深めます。
	第3章 随想・評論(二) 第4章 小説(二)	・「隠れん坊の精神史」を読み、具体例から普遍性を引き出す論法を学びます。 ・「水仙」を読み、小説固有の文体がもつ影響力を味わいます。
3 学 期	第5章 随想・評論(三) 第6章 詩歌 第7章 小説(三) 第8章 随想・評論(四)	・「無常ということ」「骨とまぼろし」を読み、読者を文章世界に引き込む独創的な表現を味わいます。 ・詩や俳句を読み、それぞれの表現の特色を理解して自己の表現に役立てるとともに、描かれた世界を味わいます。 ・「藤野先生」を読み、歴史的背景や社会状況を踏まえて、登場人物の心の動きを理解します。 ・「チャンピオンの定義」を読み、ことばの力や人とことばとの関わりについて考えを深めます。

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	文学国語	学年・類型	5年・理数	必修	選択	単位数(週時数)	2
教科書	文学国語 (筑摩書房)								
副教材等	「新訂 国語図説 六訂版」(京都書房)・「常用漢字ダブルクリア 三訂版」(尚文出版) 「イラストとネットワーキングで覚える現代文単語げんたん」(いっぴな書店) 「LT現代文 LT3」(浜島書店)								

学習の目標	文学的な文章を読むことを通して、我が国の言語文化の特質について理解を深めるとともに、深く共感したり豊かに想像したりする力、創造的に考える力や伝え合う力を伸ばします。書き手や登場人物のもの見方、感じ方に触れ、それについて思考したり想像したり批評したりすることを通して、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることをねらいとしています。	
学習の方法	文章理解や自己表現には、語彙力が不可欠です。意識的、意欲的に取り組み、語感を磨き語彙を豊かにしてください。文学国語の授業では、思考力と判断力、そして表現力を高めます。これらは相互に関連しており、バランス良く鍛えなくてはなりません。授業に主体的に参加し、投げ掛けられた問いに対して真剣に考えたり、級友と意見交換したり意見を書き留めたりすることを通して、力を付けていきましょう。また、文学的な文章の解釈の多様性について考察することは、自分のもの見方、感じ方、考え方を深めることにつながります。現代社会の問題や他教科で学習したこと、新聞や新書で得た知識なども関連させながら、自己を向上させましょう。積極的な読書も大切です。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通じて積極的に人や社会と関わり、思いや考えを広げたり深めたりしながら言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、国語を尊重してその能力を向上させようとしている。
	思考・判断・表現	「書くこと」「読むこと」の各領域において、言語活動を通して、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、伝え合う力を高めて、自分の考えを深め発展させている。
	知識・技能	言葉の特徴や使い方についての知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化の特質について理解を深めている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1学期	第一部 第1章 評論・随想(一) 第2章 小説(一) 第3章 随想・評論(二)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「バイリンガリズムの政治学」を読み、表現の背後に潜む複数の境界線を分析する筆者の視点に注目し、「新たな表現」について考えます。</li> <li>・「山月記」を読み、主人公李徴の心情の変化を理解し、さらに小説の虚構性を通して、人間とは何か、私たちはどう生きるべきかを考えます。</li> <li>・「実体の美と状況の美」を読み、文化は何を「美」と見なしてきたのか、美意識の中に潜む文化的な基準を歴史上の様々な事例から読み取ります。</li> </ul>
	第4章 随想・評論(三) 第5章 小説(二) 第6章 随想・評論(四) 第7章 随想・評論(五)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「記号論と生のリアリティ」を読み、筆者の考え方を踏まえて文学を読み解く方法について考えます。</li> <li>・「こころ」を読み、長編小説の全体像と細部との関係を理解します。また、本文の読解を通して、人間観、人生観に自覚的になることで自己と向き合い、人間の心について考えを深めます。</li> <li>・「論語—私の古典」を読み、『論語』がどのようにして筆者を励ます古典となったのかを読み取ります。</li> <li>・「能 時間の様式」を読み、筆者の論旨を読み取って、時間とはどのようなものなのかを考えます。</li> </ul>
	第8章 詩歌 第9章 随想・評論(六) 第10章 小説(三)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「サーカス」「永訣の朝」などを読み、詩歌に込められた詩人の思いを感じ取ります。</li> <li>・「文学の仕事」を読み、筆者が説く「文学」の役割を柔軟な視点で捉え直すことを通して、人生における「文学」の意義とは何かについて考えます。</li> <li>・「捨てない女」を読み、比喩と想像力が生み出すことばの広がりや味わうとともに、主人公の姿から何が見えてくるのかについて考えます。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	学年・類型	5年・人文	必修・選択	単位数(週時数)	3
教科書	古典探究 古文編・漢文編(大修館書店)							
副教材等	「新訂 国語図説」六訂版(京都書房) 「読解をたいせつにする体系古典文法」九訂版(数研出版) 「新版 理解を深める 核心古文単語351」(尚文出版) 「精選漢文」(尚文出版)、「精選漢文ノート」(尚文出版) 「錬成 古典2+」(尚文出版)							

学習の目標	古典探究の授業で取り上げる作品は、古文・漢文いずれも古来日本人に親しまれてきたものです。学習を通して現代の日本人の思考・感性がどのように形づくられたかを理解しましょう。また、その時代や社会の特殊性、時代や社会を超えた普遍性を認識し、社会や文化、人間に対する理解を深め、自分の生き方につなげていきましょう。	
学習の方法	古典探究の授業では単語の意味や文法的事項など十分な予習をし、分からないところをはっきりさせて授業に臨みましょう。授業中は、その確認をした上で、投げかけられた問いに対して自分でしっかり考え、また積極的に意見交換しながら、作品の主題に迫っていきましょう。古文単語や文法、敬語表現、漢文句形は正確な読解を助けるものです。繰り返し復習し、身に付けましょう。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典に関する理解や関心を深めようとしている。また、先人のものの見方や感じ方に親しみ、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。
	思考・判断・表現	文章の種類を踏まえて内容を的確に捉えたり、作品の価値を考察したりすることを通して、内容や解釈を自分の知見と結び付け、自らの考えを深め、発展させている。
	知識・技能	古典を読むために必要な、言葉の特徴や使い方に関する知識や技能を身に付け、我が国の文化の特質や中国など外国の文化との関係について理解を深める。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1 学 期	・古文 1 説話	・「十訓抄」「今昔物語集」を読み、説話文学の多様性とおもしろさを知るとともに、比べ読みを通して、古典への興味を喚起します。
	・漢文 1 故事・逸話	・「知音」「両頭蛇」を読み、故事成語の意味の成り立ちを理解します。
	・古文 2 随筆(一)	・「徒然草」「方丈記」を読み、作者のものの見方・考え方について考え、作品に通底する考え方の特色を理解します。
	・漢文 2 漢詩	・李白や杜甫の詩を読み、近体詩の形式や表現について理解を深めるとともに、作品に込められた心情を考えます。
	・古文 3 物語(一)	・「伊勢物語」を読み、登場人物の行動や心情から、当時の人の生き方や考え方を理解します。
2 学 期	・古文 4 随筆(二)	・「枕草子」を読み、清少納言の感性と機知を理解し、宮廷生活のおもしろさを味わいます。
	・漢文 3 史伝	・『史記』から「鴻門之会」・「四面楚歌」を読み、長い文章を読解する力を養うとともに、様々な人物像を通して人間の生き方についての考えを深めます。
	・古文 5 物語(二)	・「源氏物語」を読み、登場人物の人間関係を正確につかんで、それぞれの心理の動きをたどりながら長編物語のおもしろさを味わいます。
	・漢文 4 文章	・「桃花源記」を読み、作者の社会批判の精神を理解します。
3 学 期	・古文 6 日記	・「更級日記」を読み、日記文学の特色を押さえ、物語世界への憧れが少女の心を動かしていたことを理解します。
	・漢文 5 思想	・儒家、道家、法家の文章を読み比べて、それぞれの思想の特徴をつかみます。また、日本人の考え方に及ぼしている影響についても理解します。
	・古文 7 物語(三)	・「大鏡」「平家物語」を読み、歴史物語、軍記物語の特色を理解します。
	・漢文 6 日本の漢詩文	・我が国の漢詩文の歴史を知るとともに、中国文化との関わりについて考えます。



## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	古典探究	学年・類型	5年・理数(必修)・選択	単位数(週時数)	2
教科書	古典探究 古文編・漢文編(大修館書店)						
副教材等	「新訂 国語図説」六訂版(京都書房) 「読解をたいせつにする体系古典文法」九訂版(数研出版) 「新版 理解を深める 核心古文単語351」(尚文出版) 「精選漢文」(尚文出版)、「精選漢文ノート」(尚文出版) 「錬成 古典2+」(尚文出版)						

学習の目標	古典探究の授業で取り上げる作品は、古文・漢文いずれも古来日本人に親しまれてきたものです。学習を通して現代の日本人の思考・感性がどのように形づくられたかを理解しましょう。また、その時代や社会の特殊性、時代や社会を超えた普遍性を認識し、社会や文化、人間に対する理解を深め、自分の生き方につなげていきましょう。	
学習の方法	古典探究の授業では単語の意味や文法的事項など十分な予習をし、分からないところをはっきりさせて授業に臨みましょう。授業中は、その確認をした上で、投げかけられた問いに対して自分でしっかり考え、また積極的に意見交換しながら、作品の主題に迫っていきましょう。古文単語や文法、敬語表現、漢文句形は正確な読解を助けるものです。繰り返し復習し、身に付けましょう。	
評価の規準	主体的に学習に取り組む態度	古典を読む力を進んで高めるとともに、古典に関する理解や関心を深めようとしている。また、先人のものの見方や感じ方に親しみ、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。
	思考・判断・表現	文章の種類を踏まえて内容を的確に捉えたり、作品の価値を考察したりすることを通して、内容や解釈を自分の知見と結び付け、自らの考えを深め、発展させている。
	知識・技能	古典を読むために必要な、言葉の特徴や使い方に関する知識や技能を身に付け、我が国の文化の特質や中国など外国の文化との関係について理解を深める。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1 学 期	・古文 1 説話	・「十訓抄」を読み、説話文学の多様性とおもしろさを知るとともに、比べ読みを通して、古典への興味を喚起します。
	・漢文 1 故事・逸話	・「知音」を読み、故事成語の意味の成り立ちを理解します。
	・古文 2 随筆(一)	・「方丈記」を読み、作者のものの見方・考え方について考え、作品に通底する考え方の特色を理解します。
	・漢文 2 漢詩	・李白や杜甫の詩を読み、近体詩の形式や表現について理解を深めるとともに、作品に込められた心情を考えます。
2 学 期	・古文 3 物語(一)	・「伊勢物語」を読み、登場人物の行動や心情から、当時の人の生き方や考え方を理解します。
	・古文 4 随筆(二)	・「枕草子」を読み、清少納言の感性と機知を理解し、宮廷生活のおもしろさを味わいます。
	・漢文 3 史伝	・『史記』から「鴻門之会」・「四面楚歌」を読み、長い文章を読解する力を養うとともに、様々な人物像を通して人間の生き方についての考えを深めます。
	・古文 5 物語(二)	・「源氏物語」を読み、登場人物の人間関係を正確につかんで、それぞれの心理の動きをたどりながら長編物語のおもしろさを味わいます。
3 学 期	・漢文 4 文章	・「桃花源記」を読み、作者の社会批判の精神を理解します。
	・古文 6 日記	・「更級日記」を読み、日記文学の特色を押さえ、物語世界への憧れが少女の心を動かしていたことを理解します。
	・漢文 5 思想	・儒家、道家、法家の文章を読み比べて、それぞれの思想の特徴をつかみます。また、日本人の考え方に及ぼしている影響についても理解します。
	・古文 7 物語(三)	・「大鏡」を読み、歴史物語の特色を理解します。
	・漢文 6 日本の漢詩文	・我が国の漢詩文の歴史を知るとともに、中国文化との関わりについて考えます。

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年・類型	6年・人文	必修	選択	単位数(週時数)	3
教科書	精選 現代文B 新訂版 (大修館書店)								
副教材等	「新国語便覧」(大修館書店) 「重要頻出漢字 リアルマスター3300」(尚文出版) 「完成現代文 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版) 「過程の演習 新国語問題集 現代文編 第53集」(京都書房) 「重要問題演習 現代文」(ラーンズ)「解法と演習 共通テスト対策国語問題集 現代文編 二訂版」(京都書房)								

学習の目標	近代以降の様々な文章を読み、思考力や伝え合う力、言語感覚を鍛えます。作品を読むことや級友との意見交換を通して多様な価値観を知り、現代社会の問題点について主体的に考える力を養うとともに、人としてどう生きるかを考えます。また、発展的な学習活動として、小論文や大学入試問題演習にも取り組みます。	
学習の方法	現代文の授業で大切なことは、思考力と伝え合う力を高めることです。この2つの力は相互に関連しており、両方をバランス良く鍛える必要があります。授業に主体的に参加しましょう。授業中に投げ掛けられた問いに対して真剣に考え、級友との意見交換や意見を書き留めることを通してそれを更に深めましょう。また、6年生では現代社会の問題と密接に関わる評論を扱います。他教科で学習したことや新聞や新書で得た知識を関連させて考えることが大切です。本文を正しく読み解くためにも自分の意見を的確に表現するためにも、語彙を増やす必要があります。言葉の学習にも取り組みましょう。	
評価の規準	関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
	話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
	書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。
	読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
	知識・理解	表現と理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1 学 期	・評論 (一)	・『贈り物としてのノブレス・オブリージュ』『「こころ」は見える?』を読み、社会の中の自分の役割を考えるとともに、発想の転換によって生じる多角的な視点を身に付けます。
	・小説 (三)	・『舞姫』を読み、人物の心情や境遇と情景描写との呼応関係に着目して象徴表現や暗示について理解すると共に、舞台設定の背景にある時代・社会状況をとらえ、内容理解を深めます。また、状況下での登場人物の生き方や考え方を通して主題に迫り、自らの考えを深めます。
	・発展学習	・大学入試問題演習を通して、記述力を養います。
2 学 期	・評論 (三)	・『「である」ことと「する」こと』を読み、論理の展開の仕方や論旨、また、「である」と「する」の対比を正確に捉え、日本の「近代」の在り方について考えます。
	・評論 (六)	・『無常ということ』を読み、歴史や古典に対する筆者の態度を検討し、自らの態度を考えます。また、時代と文章とのかかわりを考えます。
	・発展学習	・大学入試問題演習を通して、記述力を高め、大学入学共通テスト対策も行います。
3 学 期	・発展学習	・大学入試問題演習や小論文の作成を通して、読解力、記述力を高めます。

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	現代文B	学年・類型	6年・理数 (必修) 選択	単位数(週時数)	2
教科書	精選 現代文B 新訂版 (大修館書店)						
副教材等	「新国語便覧」(大修館書店) 「重要頻出漢字リアルマスター3300」(尚文出版) 「完成現代文 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版) 「重要問題演習 現代文」(ラーズ)「解法と演習 共通テスト対策国語問題集 現代文編 二訂版」(京都書房)						

学習の目標	近代以降の様々な文章を読み、思考力や伝え合う力、言語感覚を鍛えます。作品を読むことや級友との意見交換を通して多様な価値観を知り、現代社会の問題点について主体的に考える力を養うとともに、人としてどう生きるかを考えます。また、発展的な学習活動として、小論文や大学入試問題演習にも取り組みます。	
学習の方法	現代文の授業で大切なことは、思考力と伝え合う力を高めることです。この2つの力は相互に関連しており、両方をバランス良く鍛える必要があります。授業に主体的に参加しましょう。授業中に投げ掛けられた問いに対して真剣に考え、級友との意見交換や意見を書き留めることを通してそれを更に深めましょう。また、6年生では現代社会の問題と密接に関わる評論を扱います。他教科で学習したことや新聞や新書で得た知識を関連させて考えることが大切です。本文を正しく読み解くためにも自分の意見を的確に表現するためにも、語彙を増やす必要があります。言葉の学習にも取り組みましょう。	
評価の規準	関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図り、進んで表現したり理解したりしようとする。
	話す・聞く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、目的や場面に応じ、筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。
	書く能力	自分の考えをまとめたり深めたりして、相手や目的に応じ、筋道を立てて適切に文章に書く。
	読む能力	自分の考えを深めたり発展させたりしながら、目的に応じて近代以降の様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。
	知識・理解	表現と理解に役立つための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論 (一)</li> <li>・小説 (三)</li> <li>・発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『贈り物としてのノブレス・オブリージュ』『「こころ」は見える?』を読み、社会の中の自分の役割を考えるとともに、発想の転換によって生じる多角的な視点を身に付けます。</li> <li>・『舞姫』を読み、人物の心情や境遇と情景描写との呼応関係に着目して象徴表現や暗示について理解すると共に、舞台設定の背景にある時代・社会状況をとらえ、内容理解を深めます。また、状況下での登場人物の生き方や考え方を通して主題に迫り、自らの考えを深めます。</li> <li>・大学入試問題演習を通して、記述力を養います。</li> </ul>
2学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・評論 (三)</li> <li>・評論 (六)</li> <li>・発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・『「である」ことと「する」こと』を読み、論理の展開の仕方や論旨、また、「である」と「する」の対比を正確に捉え、日本の「近代」の在り方について考えます。</li> <li>・『無常ということ』を読み、歴史や古典に対する筆者の態度を検討し、自らの態度を考えます。また、時代と文章とのかかわりを考えます。</li> <li>・大学入試問題演習を通して、記述力を高め、大学入学共通テスト対策も行います。</li> </ul>
3学期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学入試問題演習や小論文の作成を通して、読解力、記述力を高めます。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年・類型	6年・人文 (必修) 選択	単位数(週時数)	3
教科書	高等学校 改訂版 古典B 古文編・漢文編 (第一学習社)						
副教材等	「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館書店) 「体系古典文法」(数研出版) 「必携 新明説漢文」(尚文出版) 「理解を深める 核心古文単語351」(尚文出版) 「完成古典 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版) 「過程の演習 新国語問題集 古典編 第53集」(京都書房) 「重要問題演習 古典」(ラーンズ) 「解法と演習 共通テスト対策国語問題集 古典編 二訂版」(京都書房)						

学習の目標	<p>学習を通して、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、時代を経て形成された日本人のものの見方、感じ方を探究します。そのために、以下の目標を設定します。</p> <p>(1) 語句の意味、用法を理解して古文、漢文特有の表現を味わう。</p> <p>(2) 文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考える。</p> <p>(3) 生涯にわたって古典に親しみ、古典の精神が近代以降の日本においてどう生かされ、未来にどう継承・発展させられるべきか、考える態度を養う。</p> <p>また、発展的な学習活動として、大学入試問題演習にも取り組みます。</p>	
学習の方法	<p>毎日の授業では、予習が重要になります。授業で初めて疑問を持つのではなく、予習の段階で、疑問点を整理しておきましょう。そうすることで、授業の中でその疑問点を一つ一つクリアしていくことができます。また、授業中は積極的に友人と話し合ったり意見を書いたりして、考えを深めましょう。古典においても、作品を通して自分の生き方や社会の問題について考えることが大切です。語句や文法は、読解を助けるものです。繰り返し復習しましょう。</p>	
評価の規準	関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって古典に親しもうとする。
	読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え、古典に親しむ。
	知識・理解	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	<p>上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。</p> <p>年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。</p>	

	単元	主な学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文 説話</li> <li>漢文 逸話</li> <li>古文 物語 (一)</li> <li>漢文 史記の群像</li> <li>発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『今物語』を読み、貴族社会において和歌がいかにかに人の心を動かす力を持っていたかを理解します。</li> <li>「不顧後患」を、喩えに注意して読み、筆者の主張を理解します。</li> <li>『源氏物語』を読み、情景と心情の一体化した表現の魅力や、折々に詠まれる和歌の役割と効果を理解します。</li> <li>『史記』を読み、中国の戦国時代の様相を理解し、処世術について考察します。</li> <li>大学入試問題演習を通して、読解力、記述力を養います。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文 評論 (一)</li> <li>古文 評論 (二)</li> <li>漢文 漢詩の鑑賞</li> <li>漢文 清代の文章</li> <li>発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『俊頼髓脳』を読み、和歌の評価基準や表現技巧への理解を深め、味わいます。</li> <li>『玉勝間』を読み、筆者本居宣長の学問に対する考え方を理解し、近世国学の文学的な特色を考えます。</li> <li>古体詩を読み味わい、詩の形式と内容の多様性や主題の普遍性について理解します。</li> <li>「為学」を読み、漢文独特の簡潔な表現を味わい、筆者のものの見方や考え方を理解し、現代の問題と関連させながら「学ぶこと」について考えます。</li> <li>大学入試問題演習を通して、記述力を高め、大学入学共通テスト対策も行います。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試問題演習を通して、読解力、記述力を高めます。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	古典B	学年・類型	6年・理数 (必修) 選択	単位数(週時数)	2
教科書	高等学校 改訂版 古典B 古文編・漢文編 (第一学習社)						
副教材等	「ビジュアルカラー国語便覧」(大修館書店) 「体系古典文法」(数研出版) 「必携 新明説漢文」(尚文出版) 「理解を深める 核心古文単語351」(尚文出版) 「完成古典 大学入学共通テスト対策 新装版」(尚文出版) 「重要問題演習 古典」(ラーンス) 「解法と演習 共通テスト対策国語問題集 古典編 二訂版」(京都書房)						

学習の目標	<p>学習を通して、我が国の文化と伝統に対する関心を深め、時代を経て形成された日本人のものの見方、感じ方を探究します。そのために、以下の目標を設定します。</p> <p>(1) 語句の意味、用法を理解して古文、漢文特有の表現を味わう。</p> <p>(2) 文章や作品に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考える。</p> <p>(3) 生涯にわたって古典に親しみ、古典の精神が近代以降の日本においてどう生かされ、未来にどう継承・発展させられるべきか、考える態度を養う。</p> <p>また、発展的な学習活動として、大学入試問題演習にも取り組みます。</p>	
学習の方法	<p>毎日の授業では、予習が重要になります。授業で初めて疑問を持つのではなく、予習の段階で、疑問点を整理しておきましょう。そうすることで、授業の中でその疑問点を一つ一つクリアしていくことができます。また、授業中は積極的に友人と話し合ったり意見を書いたりして、考えを深めましょう。古典においても、作品を通して自分の生き方や社会の問題について考えることが大切です。語句や文法は、読解を助けるものです。繰り返し復習しましょう。</p>	
評価の規準	関心・意欲・態度	言語文化や伝統に対する関心を深め、国語を尊重して、生涯にわたって古典に親しもうとする。
	読む能力	古典に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考え、古典に親しむ。
	知識・理解	古典の理解に役立てるための音声、文法、表記、語句、語彙、漢字等を理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	<p>上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。</p> <p>年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。</p>	

	単元	主な学習内容
1 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文 説話</li> <li>漢文 逸話</li> <li>古文 物語 (一)</li> <li>漢文 史記の群像</li> <li>発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『今物語』を読み、貴族社会において和歌がいかにかに人の心を動かす力を持っていたかを理解します。</li> <li>「不顧後患」を、喩えに注意して読み、筆者の主張を理解します。</li> <li>『源氏物語』を読み、情景と心情の一体化した表現の魅力や、折々に詠まれる和歌の役割と効果を理解します。</li> <li>『史記』を読み、中国の戦国時代の様相を理解し、処世術について考察します。</li> <li>大学入試問題演習を通して、読解力、記述力を養います。</li> </ul>
2 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>古文 評論 (一)</li> <li>古文 評論 (二)</li> <li>漢文 漢詩の鑑賞</li> <li>漢文 清代の文章</li> <li>発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>『俊頼髓函』を読み、和歌の評価基準や表現技巧への理解を深め、味わいます。</li> <li>『玉勝間』を読み、筆者本居宣長の学問に対する考え方を理解し、近世国学の文学的な特色を考えます。</li> <li>古体詩を読み味わい、詩の形式と内容の多様性や主題の普遍性について理解します。</li> <li>「為学」を読み、漢文独特の簡潔な表現を味わい、筆者のものの見方や考え方を理解し、現代の問題と関連させながら「学ぶこと」について考えます。</li> <li>大学入試問題演習を通して、記述力を高め、大学入学共通テスト対策も行います。</li> </ul>
3 学 期	<ul style="list-style-type: none"> <li>発展学習</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大学入試問題演習を通して、読解力、記述力を高めます。</li> </ul>

## 令和5年度 シラバス

教科	国語	科目	国語探究	学年・類型	6年・人文 必修・ <b>選択</b>	単位数(週時数)	2
教科書	高校生のための愛媛の文学 (森と出版)						
副教材等							

学習の目標	(1) 作品に用いられている語句の意味、用法を理解し、その特有の表現を味わう。 (2) 文章に表れた思想や感情を的確に読み取り、生活や人生について考える。 (3) 郷土の文学作品を読むことを通して、愛媛の文化と伝統に対する関心を深め、生涯にわたって文学に親しむ態度を養う。	
学習の方法	様々な時代やジャンルの郷土の文学作品を教材として学習します。郷土の文学作品について知識や理解を深めるだけでなく、音読や発表を通じて作品を体感したり、意見交換をしたりします。また、上記の学習の発展的な学習活動として大学入試問題演習にも取り組みます。	
評価の規準	関心・意欲・態度	国語で伝え合う力を進んで高めるとともに、言語文化に対する関心を深め、国語を尊重してその向上を図ろうとする。
	話す・聞く能力	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞き取ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。
	書く能力	相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。
	読む能力	文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。
	知識・理解	伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身に付けている。
評価の方法	上記の観点を踏まえ、定期考査、出席状況、学習活動への参加の姿勢、授業態度、提出物、課題等を総合的に判断して、評価を行います。 年間の学習状況の評価は、第1学期・第2学期・第3学期の成績を総合して、年間の学習成績とします。	

	単元	主な学習内容
1学期	<b>【古典文学】</b> 地名の起こり 伊予の湯をめぐる 戦乱の世に <b>【近・現代の散文】</b> 『「自分の木」の下で』 『がんばっていきまっしょい』 『坊っちゃん』 <b>【近・現代の韻文】</b> 愛媛ゆかりの俳人	<ul style="list-style-type: none"> <li>古事記を読んで、地名や道後温泉にまつわる話について理解を深めます。また、音読や読解を通して、軍記物語を読み味わいます。</li> <li>『「自分の木」の下で』を読み、多面的なものの見方を養います。また、「がんばっていきまっしょい」と「坊っちゃん」を読み、愛媛の方言の特色について話し合います。</li> <li>愛媛ゆかりの俳人と作品について各自発表します。</li> </ul>
2学期	<b>【古典文学】</b> 各地に残る不思議 人生が変わるとき <b>【近・現代の散文】</b> 『世界の中心で、愛を叫ぶ』 『病牀六尺』 ・発展学習	<ul style="list-style-type: none"> <li>作品を読んで、昔の人と私たちの、人としての変わらぬ思いについて考察します。</li> <li>朗読を通して『世界の中心で愛を叫ぶ』を読み味わい、映像作品との比較も行います。また、『病牀六尺』を読み、正岡子規の心情に迫ります。</li> <li>大学入試問題演習を行います。</li> </ul>
3学期	・発展学習	・大学入試問題演習を行います。